

平成28年度 住民福祉懇談会 【まとめ】

社会福祉法人 魚沼市社会福祉協議会

【堀之内地区】

会場 原ふるさと会館（参加者 10名）

1 私たちの地域のいいところ

・ となり近所が身近である。
・ 周りがよくわかる。
・ 地域の集まりが多い。
・ 地域の行事2ヶ月に1回くらいある。
・ 災害が少ない。
・ 集落ごとのまとまりがある。
・ 顔がわからなくても会話ができる。

2 身近な地域でこまっていること

・ 近くにお店がないため、乗り合いタクシーで行く。
・ 移動販売がない。
・ 交通機関が使いにくい。
・ 原地区から1番近いお店が、Aコープやセブンイレブンである。
・ 高齢者の施設が不足しているようで不安である。
・ 高齢者が増え、若年層が減ることによって、将来回っていくのか心配である。
・ 地域の担い手が不足している。
・ 民生委員のなり手がいない。”いつかわ変わる”システム作りを長岡市の取り組みを参考に。
・ 地域の見守りが不足している。
・ 人が徐々に減っていき、住めない地域になってしまうのではないかと。
・ 若手がいない。
・ 就労の場がないため、若者も地元に戻って来れない環境である。
・ 緊急時の医療について不安がある。
・ 高齢者の屋根雪除雪が危険である。
・ 融雪設備があっても費用が高く使えない。
・ 空き家の除雪対応で困っている。
・ 子どもが少なく、身近な友達同士で遊べない。
・ 親として、子どもがこんな地域に戻ってきて欲しくないと思うくらい不便である。
・ スクールバスの本数が減少し、できることが少なくなってきた。
・ プールの開設日数が減少し、遊び場がなくなってきた。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 人が沢山いると良い。
・ 店が沢山あると良い。移動販売が週1回程度来ると良い。
・ バスなどの公共交通が充実すると良い。
・ 医療機関が増加すると良い。
・ 道路の除雪回数が増加すると良い。
・ 魚沼をもっと知ってほしい。
・ 緑（自然）の大切さを理解すると良い。
・ 税金少なくしてほしい。
・ 宅食便が広がると良い。
・ 魚沼をもっとPRし、もっと移住を推進すると良い。

会場 堀之内公民館（参加者8名）

1 私たちの地域のいいところ

・ 地域の結束力が強い。
・ 地域の伝統を引き継いでいる。

・ お祭りが一生懸命である。
・ ご近所のことがよくわかっている。
・ 商工会の若手が頑張っている。
・ 商店街それぞれの家が卒業生にお祝いメッセージをしていて、子ども達の成長を地域で温かく見守っている。
・ スタンプラリーや街角ギャラリー等、企画が多く、活気がある。
・ お祭りに、小・中学生が販売で参加している。
・ 皇太市をしている。
・ 学校と地域が一緒に行事に取り組んでいる。
・ 生モツを焼く文化があり、その文化を大切にしている。
・ ユリとシャクヤクの花が素晴らしい（雪の季節も農業をやっている。ユリを通して雇用促進）

2 身近な地域でこまっていること

・ アパートに住んでいる住民のことがよくわからない。
・ 堀之内病院の縮小が困る。
・ 高齢者の通院が大変である。
・ 小出病院を予約していても1時間待たされる。
・ 専門病院が少なく、基幹病院まで行かなければならない。
・ 地域の役員や係などを掛け持ちしなければならず、負担が大きい。
・ 飲み屋や食堂が減少している。
・ 子どもが遊べる公園が少ない。また、遊具も少ない。
・ 公園の管理が難しい。
・ 空き家の除雪をどうしたらよいか対応に困っている。
・ 高齢者の買い物が大変である。
・ 若者がコンビニや駅でたむろしていて怖い。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 地域に座って話をできるようなスペースがあると良い。
・ 高齢者が外に出やすい町づくりが進んでいくと良い。
・ 子どもたちが外で遊び、声が聞こえる町であってほしい。
・ いつでも、お祭りのような人で溢れる地域であると良い。
・ よってけ亭がもう少し、明るく入りやすい雰囲気があるとよい。
・ よってけ亭が地域の茶の間のようなになればいい。
・ イベントだけでなく、1年中盛り上げられる多世代交流ができれば良い。
・ 子どもの一時的預かりがあれば良い。
・ 子どものバスが効率化すると良い。
・ 困ったときに対応してもらえるサービス、病院、施設があると良い。
・ 必要なときに、色々なサービスを選択できる地域になると良い。
・ 介護保険制度等の対象外の方への支援が充実すると良い。
・ 子どもから高齢者まで安心して退院し、地域で暮らせる仕組みづくりがあると良い。

会場 下島区集落センター(参加者11名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 災害について気をつかっており、班の代表に安否確認をする様に話してある。
・ 人数は少ないが、地域の祭りを頑張っている。
・ 徳田地区、老人会の活動が多くある。
・ 下島地区、小学生の元気がよく、地域とのつながりがある。
・ 下島地区、美化運動に子どもからお年寄りまで多く参加している。
・ 下島地区、青年会（20代～30代）が祭りを盛り上げている。
・ 茶話会、赤ちゃんと一緒に参加した。
・ 地域おこし協力隊の方が来ていることが良い。
・ 年をとっても頑張っている方が多くいる。
・ 防災訓練に多くの方が参加してくれた。
・ 地域の中で役立てることを考えていきたいと思い、社協と話している。
・ 地域の健康について、小出病院の院長から協力していただいている。
・ 災害があったことで、区長間のつながりが強くなった。
・ 公民館活動が多い。

- ・ 野菜のやり取りや競い合いでお年寄りが元気でいられる。
- ・ 子ども見守り隊の方が頑張ってくれている。高齢者の健康にもつながっている。
- ・ 災害時には、近所同士、電話で安否確認を取ることができた。

2 身近な地域でこまっていること

- ・ 宇賀地地区では、歩いて行ける公園がない。
- ・ 空き家の除雪に困っている。
- ・ 1人暮らしが多くなり不安である。
- ・ 災害に対して不安がある。
- ・ 元気で外に出ていた人が、あるとき出なくなっていく。誰がどうサービスするかわからない。
- ・ 早めの変化に気づき、声をかけてもらいたい。
- ・ 新道島～竜光までの歩道が狭い。
- ・ 防災無線のスピーカー音が聴こえないため困る。
- ・ 地域の茶の間について、歩けない方々の参加が難しい。
- ・ 地域にいる外国人の福祉などがわからない。

3 こんな地域であつたらいいな

- ・ 何かあったときは地域を頼りにする。そこからサービスにつながっていったら良い。
- ・ 認知症の方がいても、近所の中で支えられる地域であれば良い。
- ・ 住人の管理をしっかり行えると良い。

会場 根小屋生活改善センター(参加者9名)

1 私たちの地域のいいところ

- ・ 配食サービスの配達ボランティアが、ひとり暮らしの方の見守りをしている。
- ・ 集落で見守りをしている。
- ・ 自然の恵みや楽しみがある。
- ・ 認知症の方がいる家を、近所の方も見守ってくれる。
- ・ 福祉サービスを利用することで、家族は仕事をすることができ助かる。

2 身近な地域でこまっていること

- ・ 入所できる施設がないのではないか。10年後が不安である。
- ・ 基幹病院への通院に困っている人がいる。
- ・ 介護者のこともみてほしい。

3 こんな地域であつたらいいな

- ・ 日頃から、近所の行き来ができるとうい。
- ・ 堀之内病院を上手く活用してもらいたい。
- ・ スマホやタブレットなどの機器を、若い人が年配の人に気軽に教えてくれるような地域が良い。
- ・ 若い人も、地域の問題について自覚してもらえたら良い。
- ・ 核家族ではなく、3世代同居家族が増えてくれたら良い。

【小出地区】

会場 北部公民館(参加者18名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 近所で声かけをしている。
・ 北部のコミュニティ協議会の活動が進んでいる。継続して取り組まれ活発である。
・ 佐梨のコミュニティ協議会の活動は、青パトやデイリーの花壇に花を植える活動をした。
・ 子育て環境が充実している。
・ 近所付き合いが良い。祭りや青年団等において協力している。
・ 町並み、各家庭の花壇が綺麗である。
・ 外に出ると、誰かと話せる環境（相談相手）がある。
・ お互い様の気持ちがある。

2 身近な地域でこまっていること

・ 町内行事の参加者が固定され、新規の参加者がいない。
・ アパートでは、転入や転出が不明で顔がわからず、コミュニケーションもない。
・ 人口減少に伴い、役員のなり手が不足している。
・ 空き家の増加が課題である。
・ 地域の茶の間を実施する場所がない（公民館等がない）。
・ 行政等からの事例が欲しい。提案してもらえれば分析できる。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 地域活動を手助けしてほしい。例えば、空き家の維持費の助成など。
・ 地域の茶の間を月に数回の開催ではなく、いつでも出入りできると良い。場所の確保ができれば。
・ ちょっと都会で、ちょっと田舎。人のことを気にしすぎる。人の噂話や居ない人の話をしない地域になると良い。
・ できる事を自分たちで工夫して過ごせる地域になると良い。
・ 地域の茶の間や生きがい活動支援通所事業に参加できない方でも、役割をもってもらい自由に集まれる場所があると良い。

会場 青島農村婦人の家(参加者24名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 繋がりが強い地域である。
・ 野菜の作り方や田んぼのことなど、共通の話題を気軽に話せる。
・ 高齢者が増えている。
・ 困りごとがあれば、近所に相談できる信頼関係ができている。
・ 花見などの行事では、回覧板を活用して声かけをしている。
・ 老人クラブで週1回、集まってお茶のみして楽しんでいる。
・ 地域の茶の間、歌やお茶飲みが楽しい。

2 身近な地域でこまっていること

・ 地域で買い物ができない。
・ お店が近くにないため、車を運転できなくなると困ってしまう。
・ 男性は仕事中心であるため、地域との関わりが薄い。
・ 巡回バスは、予約し辛く、利用しにくい。
・ 流雪溝がないため、雪の捨て場所がない。
・ 街灯がない。
・ 地域の茶の間の会場に難がある。
・ 地域の茶の間の参加者が回数を重ねるごとに少なくなっている。
・ ボランティアの高齢化が進んでいる。
・ 空き家の雪対策が困る。
・ 青島地区は子どもが多いので、老人クラブの集まりに来てくれたら良い。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 子どもからお年寄りまで集まれる会があると良い。
・ ラジオ体操に皆で参加できると良い。
・ 集落が大きいので、地域で葬式があるとき、連絡体制があると良い。

- ・ 作物や園芸の品評会があると良い。
- ・ 地域の茶の間に男性が参加してくれたら良い。

会場 小出ボランティアセンター(参加者20名)

1 私たちの地域のいいところ

- ・ 人情味があってあたたかい地域である。生活して気持ちが変わった。
- ・ 花火の音が良い。
- ・ 地域行事(祭りなど)が多い。
- ・ 四季がはっきりしている。
- ・ 地域住民のコミュニケーションが良い。
- ・ お米がおいしい。新鮮野菜がある。
- ・ 市外の方から、山紫水明の地域と呼ばれる。
- ・ 公園が多く、きれいである。
- ・ 豪雪地であるが、消雪設備が整っている。
- ・ 災害が少なく、対策が整っている。
- ・ 交通の便が良く、生活しやすい地域である。
- ・ 地域の茶の間の活動が活発である。
- ・ ボランティアとして、子どもから大人まで活発に活動している。
- ・ 見守り隊が地域の安全をみている。

2 身近な地域でこまっていること

- ・ 世帯数が多く、把握できない。
- ・ 顔のわかる小地域であるが、今後高齢者世帯が増えることが考えられ不安である。
- ・ 医療機関まで遠く、交通費が高い。
- ・ 課税世帯であるため、タクシー券の支給がない。
- ・ 高齢者ドライバーが増え、事故が心配である。
- ・ 高齢者のひとり暮らしについて、緊急時の対応など困る。
- ・ 地域ごとに避難訓練のやり方が異なるため、避難場所などわかりづらい
- ・ アパート住民などは把握できないため、実際に災害が起こったとき不安である。
- ・ 行政からの情報が一方通行である。
- ・ 相続などどこに相談したらいいかわからない。

3 こんな地域であつたらいいな

- ・ 昼夜問わず、連絡が取れる窓口・場所があると良い。
- ・ 現在、近隣の方、民生委員、包括が連携して、孤独死を防ぐことができた。
- ・ 子育て支援センターを子どもの遊び場として充実できたらよい。
- ・ どんなことも相談しやすい地域であつたらいい。
- ・ 子どもが、家の中でゲームばかりせず、公園で遊んでくれたら良い。
- ・ 公園が地域交流の場となるように。興味を引くようなところになると良い
- ・ 子どもたちの躰について、地域ぐるみでもらえたら良い。
- ・ 各地域のコミュニティーづくりのため、各団体が話し合える機会をつくり、地域の横のつながりが強くなれば良い。

会場 伊米ヶ崎公民館(参加者13名)

1 私たちの地域のいいところ

- ・ スクールガード、夜警当番など地域を見守る目がある。
- ・ 元気な高齢者が多い。
- ・ 隣近所を気遣う思いやりがある。
- ・ 回覧板で学校の子どもの様子を教えてくれる。
- ・ 様々な年齢の人たちが一緒にラジオ体操をしている。
- ・ 通院の際に車を出したり助け合っている。
- ・ 住民同士のあいさつがしっかりしている。
- ・ 防災訓練などでの集まりが良い。

2 身近な地域でこまっていること

- ・ 独居老人が増えている。
- ・ 社協のフードバンクを必要とする人がいることに驚いた。

- | |
|---|
| ・ 社協側で問題を提案してから、地域で話し合うほうが住民としてはやりやすいのでは？ |
| ・ 地域ごとの特性に合わせた施策を出して欲しい。 |
| ・ 新たに増えた住民のことを把握できていないのが不安である。 |
| ・ ボランティアの方々の高齢化を感じる。 |
| ・ ボランティアに男性が少ないと感じる。 |

3 こんな地域であつたらいいな

- | |
|--|
| ・ 市が魚沼の子どもたちに将来Uターンして戻りたいと思わせるようなこと、例えば、企業からのアピールなどを募ってみてはどうか。 |
| ・ 雪国である魚沼ならではの住民のつながりを大切にしていきたい。 |

【湯之谷地区】

会場 大沢公民館(参加者16名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 吉田地区では、月に2回、地蔵様会を開き交流している。茶飲み会だが、埼玉からの参加や男性の参加も多い。
・ 大沢地区では、4月から地域の茶の間をはじめた。何年ぶりかで会えること等、楽しみにしていただいている。
・ 大沢地区では、大沢に生まれ育った人が多い。まとまりがいい。
・ 青年会の活動も盛んである。
・ 老人クラブも頑張っている。
・ 球技大会が盛んである。年代に関係なく参加している。大沢出身でなくとも、子どもを通して参加できている。
・ 吉田地区は、若い世帯が多く、子どもの声が聞かれる。花を作ったり、散歩をしている人も多い。
・ 大沢、葎沢の方を中心に、鳴倉山を整備してもらい、大変ありがたい。子どもたちの登山もみられた。

2 身近な地域でこまっていること

・ 地域の茶の間は、男性の参加が少ない。囲碁や将棋等を準備しているが・・・
・ 男性が参加できる会が少ない。
・ 老人クラブは男性が多いが、若い人の参加が少ない。(現在75～80代の方が中心)
・ 老人クラブは名前がよくない。
・ 老人クラブ、新規の会員登録が少なく、運営が大変である。
・ 地域の茶の間は、足腰の悪い方等、参加したくてもできない方もいる。何名かスタッフが迎えに行っている。
・ 高齢になると買い物が大変だ。近所のお店、スーパーが閉店してしまった。昔は行商の方が来てくれてよかった。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 独身の方が少なくなるような取り組みがほしい。(例えば、婚活事業)
・ いずれ、子どもの声がする地区になるといい。
・ 高齢世帯になったり、一人になったとき、見守り、助け合える地域であつてほしい。

会場 湯之谷老人福祉センター(参加者12名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 災害が少なくて住みやすい。
・ 上ノ原自治会で「グランドゴルフ」が昨年より立ち上がり、参加者はやる気十分(参加者18名中15名が65歳以上)
・ グランドゴルフ等、自己啓発ですることが若返りに繋がっている。
・ 上ノ原コミュニティ協議会の活動に、小さい子どもから高齢者まで活動に参加している。
・ あいさつ運動が5年目。警察の方・校長先生等、大勢の方々が取り組みに参加している。
・ 子ども達の元気なあいさつがある。あいさつの出来る子ども達が育っている。
・ 消防団の活動が活発である。
・ 老人クラブの活動で環境がきれい。
・ 七日市・七日市新田の老人クラブはラジオ体操をしてから、公園や神社の草取りの活動に入っている。
・ 老人クラブの皆さんが元気にしている。
・ 七日市・七日市新田、地域で自然とお茶飲みの場ができています。

2 身近な地域でこまっていること

・ 野焼きがまだあり、(今後の人間関係を考えると)注意もできなくて困っている。
・ 地域の行事に若者が参加しない。
・ お年寄りが頑張りすぎるのか、世代交代がうまくいかない。
・ お年寄りが話をする場所がない。
・ 地域の茶の間、ボランティアの会など、意見を出してもなかなか立ち上げまでいかない。
・ プライドの高い高齢者が多く、対応に迷う。
・ 世帯が多い。
・ アパートが多く、様子がわからない。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 現代は関係が希薄なため、昔のような両隣の付き合いがあると良い。
・ 独居世帯を支えられる地域になると良い。
・ 気軽に声をかけ合える地域になると良い。
・ まずは会話。会話でコミュニケーションをとる地域になると良い。
・ 認知症高齢者を支えられる地域だと良い。

・ 地域で支える仕組み作りを早く整えてもらいたい。
・ 地域の見守り隊が増え、安心して暮らせる地域。
・ 信頼関係を築ける地域。
・ 助け合える地域。
・ 明るく元気な子ども達に育てほしい。
・ 地域の行事（子どもみこし、納涼会、盆踊り）が継続していくと良い。
・ お茶飲み場所を作っていたら良い。
・ 人が外に出てこれる仕組みがあると良い。
・ 周りに優しく、ちょっとしたおせっかいをつなげる地域だと良い。
・ 住民と行政が連携し、意見が具体化されると良い。

会場 下折立公民館(参加者9名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 元気な高齢者同士がお茶飲みされており情報交換している。
・ 自然が豊かで、おいしいコシヒカリがある。
・ 地域住民がやさしい。
・ お互いの顔もよくわかるし助け合いができています。なんでも一緒にすることが大事である。
・ 下折立地区では、マレットゴルフがあるが、競技人口が少ない。高齢の方に勤めて活性化するといいいのではないか。
・ 集まって何かするにはマレットゴルフ場を活用できるといいのではないか。
・ 社協のフードバンクは良い仕組みである。協力員が増えるとありがたいし、生鮮品をボランティアで加工したらどうか。
・ 地域の行事に参加することで、仲間入りさせてもらえて良かった。地域のつながりは大事である。
・ 大湯温泉地区の住民は、観光客の相手をする方が多いので付き合いが上手である。
・ 地域の茶の間で、笹団子作りの講習をしたところ好評だった。
・ 共同作業などのまとまりがある。自分の役割をきちんとしてくれる。
・ 下折立地区では、今年4月より、高齢者対策委員会を立ち上げ、月1回話し合いを行っている。

2 身近な地域でこまっていること

・ 若い人が少ないので不安である。
・ SOSを出せない人はどうしたらよいか。
・ コミュニティ協議会の中での意見を活用してもらいたい。
・ 昨年した、懇談会での意見を翌年でも良いので、どうやって解決したら良いか議論し報告できると良い。
・ ひとり暮らしをどうするか。
・ 生活維持をどうするか。
・ 生きがいをどのように持つか。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 困っていると言える環境になったら良い。
・ 行政や社協から、福祉の情報をもっと提供してもらえたら良い。

【広神地区】

会場 小平尾研修集会センター(参加者17名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 気軽に話せる地域性が良い。
・ 互いに協力し、まとまりがある地域である。
・ 長い歴史があり、人と人との信頼関係が構築されている。
・ 地域の茶の間では、色々な人と会うことができ幸せである。
・ 地域の茶の間では、地域のボランティアが協力的である。
・ 困ったことがあると相談に乗ってくれる人がいる。
・ 他の市町村から縁あって来たが、快く受け入れてくれた。
・ ご近所同士、心配してくれる。例えば、家の電気がついていない等。

2 身近な地域でこまっていること

・ 空き家の増加。
・ 子ども減少、高齢者の増加。
・ 冬の除雪について、除雪援助事業の対象外である制度の狭間の方への支援について困っている。
・ 様々なサービスや助成制度（例えば、人間ドッグの助成）があるが、わからない。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 地域おこし協力隊がもっと増えてくれたら良い。
・ ガスの消し忘れなど、ご近所同士助けてくれる関係だと良い。
・ 子どもたちの、笑い声や泣き声が溢れる地域になると良い。
・ ラジオ体操に、子どもや親だけでなく、高齢者も参加できると良い。
・ 地域の茶の間などの活動に、男性がもっと参加してほしい。
・ 独身者が多いので、他からお嫁さんが多く来るとよい。
・ 人が出て行かないと良い。
・ 地域が活性化し、地域通貨などが利用されると良い。

会場 広神コミュニティセンター(参加者16名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 羽根川コミュニティ協議会（5集落）で年1回収穫祭を行っている。
・ 子どもみこしや魚のつかみどりを行い、地域の祭りを盛り上げている。
・ 市の除雪援助事業の対象外の人に対して、コミュニティ事業で支援している。
・ 老人クラブの集まり（地域の茶の間）が週1回あり、とても楽しみにしている。
・ 集落センターが地域の真ん中にあり活動が活発である。
・ 集落全体の運動会がある。
・ 伝統芸能があり文化会館で発表している。芸達者がたくさんいる。
・ 子どもへの声かけとして、地域のみんなであいさつ運動をしている。
・ 地域内の見回りとして、環境整備隊が活動している。
・ 川や山の整備をして、魚や虫などの生き物について学びを深める活動をしている。
・ ボランティアによる除雪がある。
・ 社協のフードバンクは、活動していることで困っている人を助けられるし、困っている人がたくさんいることを知ったので立ち上げて良かった。

2 身近な地域でこまっていること

・ 困っているだろうと思う人はいるが、SOSの声が出ないため支援できない
・ 独居の高齢者が多くなる一方で、若者が外へ出てしまう。
・ 社協の事業がなくなったり、回数が減っている。
・ 家族はいても、日中独居の方がいる。
・ 社協の高齢者交流事業の対象者を広げて欲しい（家族はいるが日中独居の方など）
・ 家庭内で茶の間に集まることがない。
・ 家族団らんが減ってきている。
・ 公共のバスがなくなった。
・ 基幹病院までの移動手段がない。
・ 中子沢の郵便ポストがなくなった。
・ 川遊びが学校で禁止されてしまった。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 川の整備をして、子どもたちが川で遊べるようになったらいいなと思う。
・ 買い物、通院ができる移動手段の支援があつたら良い。
・ 若者が定住できるよう、職場があつたら良い。
・ 単身者が多く、嫁さんが来れば良い。
・ 魚沼市では、65歳以上が3人に1人となっているのだから、65歳以上の行動支援計画を作つたらいいのではないかな。

会場 並柳担い手センター(参加者9名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 空気がいい。
・ 人が優しく、応えてくれる。
・ 声を掛け合い、支え合いがある。
・ 近所の人たちのつながり、見守りがある。
・ 自然やゆとりがある。
・ 他県より道が広い。
・ 地域のお店が集まる場となっている。
・ 地域の茶の間を始めて、数年ぶりに再開した人がいた。
・ 地域の茶の間に、地区、連絡員、声かけ、回数を重ね、参加者が増えてきた。
・ 江口では、まだ茶のみが続いている。
・ 田尻では、男性の茶のみがなく心配である。
・ 昔は荒れていた中学生が、今では地域で話を聞ける姿勢になっている。
・ 地域の茶の間では、良いボランティアさんが多い。
・ 地域の茶の間では、資金はないが、手作りの漬物など持ち寄り工夫している。
・ 地域の茶の間では、男性の参加者が徐々に増えてきた。
・ 地域の茶の間では、会費を集めて工夫した運営をしている場所がある。

2 身近な地域でこまっていること

・ 人の集まりが減っている。
・ 商店が減り困る。
・ 買い物バスを運行してほしい。徒歩では、行きは良いが、帰りが坂で困る。
・ 生協などは、どこまで配達可能かわからない。
・ コンビニが弁当を配達してくれるが、商品を選べないことと、カロリーが高いため毎日利用できない。
・ 社協の配食サービスのPRや対象者の緩和をしたらどうか。
・ 以前は、金融機関の職員にお金を持ってきてくれたが、最近は厳しくなって困る。
・ 包括支援センターや在宅介護支援センターなどの業務がわからない。
・ 地域の茶の間、補助金が限られており回数が少ない。もっと多く開催できれば広がる。
・ 障がいを持った子どもが頻繁に下着を購入していた。
・ 支援する上で、どこまで介入して良いのか悩む。
・ SOSの手を自分であげられる人はいいが、あげられない人は大変である。
・ 支援が必要とわかっていても、縛りがあって難しい。
・ 民生委員は個人情報の扱いなど大変なことが多く、なり手がいない。報酬を考えてもらいたい。
・ 地元商店について、車のある人は街へ出かけ利用しない。店が減っていき買い物難民が増えている。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 楽しければ人が集まる。
・ 変わった楽しい企画があれば良い。
・ 自分から声を出せない人が出せるようになる仕組みがあると良い。
・ 店に連れて行ってもらい、見て選んで買い物がしたい。
・ 男の料理教室などやったらどうか。
・ 空き家などが増えていく中で、住宅に関する関係者で検討して行ってもらいたい。

【守門地区】

会場 渋川公民館(参加者9名)

1 私たちの地域のいいところ

・ まわりの地区の人の顔が見える関係になると良い。
・ 顔見知りである。
・ 夏は住みやすい。
・ コミュニティで除雪に参加している。
・ 葬式、皆が香典を持ってきてくれる。助け合い、つながりを実感している。
・ 高倉地区、Aコープバス(週2回、火・木、須原まで)が出ている。
・ 渋川は良い所(半分かくらい) あーだ、こーだお互い干渉しない。
・ 土日集まって、朝から2時ごろまでお茶飲みし、買い物に来た人の良い集まり場がある。
・ 地下水が良く、保健所でも◎。そば打ちが最高である。

2 身近な地域でこまっていること

・ 冬は雪が多く大変である。
・ 冠婚葬祭費が大きな負担である。
・ 生鮮食品のある店がなくなった。
・ 免許の返納をしたが、自転車では用事が足りない。
・ 雪が不安で、この地を離れてしまう。
・ お金があれば地域から出て行ってしまおう。
・ 山が荒れ放題。熊が出たり、林道は通れない。
・ 子どもや若者が減り、地域の祭りが盛り上がらない。
・ 行事を続けることが大変である。
・ 道普請に出る人が少ない。担い手が不足している。
・ 道普請について、80歳以上の方も参加しなければならない地域がある。
・ 地域になじめない人がいる。
・ 消防団の定員に満たない。
・ 医療機関が遠いという問題がある。
・ 将来、体が弱ったときの受け入れ先があるか心配である。
・ 将来、施設や子どもに迷惑をかけるのではと不安である。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 徒歩や自転車で行ける範囲で、生活に必要なものを調達できると良い。
・ レクリエーションの施設があると良い。
・ コミュニティ協議会で、夏と冬に行事を行っているが、今後も続いていけば良い。
・ 大型の販売店が近くにできると良い。
・ 小売店や薬局など、買い物がすぐ出来ると良い。
・ 死ぬまで健康でいたい。福祉施設などの総合的な施策をしてもらいたい。
・ 野菜売りの場所や集まりがあると良い。

会場 守門公民館(参加者15名)

1 私たちの地域のいいところ

・ やさしさや、思いやりがある。
・ 春夏秋冬すばらしい景色がある。
・ 観光文化財がすばらしい。
・ 空気がきれいで、水がうまい。
・ すばらしいスキー場がある。
・ 人柄が良い。
・ 近所付き合いが良い。
・ 新鮮な野菜を近所にわけられる。
・ 世代を超えた付き合いがある。
・ 色々な場面でお付き合いができる。
・ 朝のラジオ体操に、子どもから高齢者まで一緒に行っている。
・ お米や山菜がおいしい。
・ 自然が良い。虫を取ったり、自然の中で楽しめる。

・ 近所の方々がアットホームである。
・ 只見線が走っている。
・ 都会から来た人が専業農家として働いている。
・ 高齢者で田畑をする人が多い。働き者が多く、健康面でも良い。
・ 元気な高齢者が多い。
・ 犬の散歩をしているおばあちゃん。何かしていることに対して、元気になる。
・ 直売所では、野菜を安く買ったりできて良い。

2 身近な地域でこまっていること

・ 雪が多い。
・ 子どもがいない。
・ 高齢者が多い。
・ 高齢者の一人暮らしの方が増えている。大変なとき誰が助けるのか。
・ 交通弱者について。シルバーカーなど危ない。
・ 交通が不便である。小出地区のように便利でない。
・ 守門や入広瀬は、雪の量が違う。
・ 嫁がいない方が近所に多い。
・ 大きな病気になったとき、タクシーなど利用すると金額がかかるため不安である。
・ 買い物に困っている。
・ 若い人がいないため、除雪が大変である。
・ 消防団のなり手がいないため、バトンタッチができない。
・ 一人暮らしの高齢者は、冬場ストーブの石油がなくなったら給油できない。有償のボランティアなど助け合える仕組みがないか。
・ 冬場、仕事から帰った際の除雪が困る。夜遅くなると家に帰れない。
・ 冬場、只見線がよく止まるため、交通の便が良くなって欲しい

3 こんな地域であつたらいいな

・ 巡回バスが守門地区で使いやすくなれば良い。
・ コミュニティがもっと活性化すれば良い。
・ もっと便利な環境になれば良い。
・ 地域で支えられる部分があれば良い。
・ となり近所と信頼関係を築き、困ったときに助けられたら良い。
・ 基幹病院への直通のバスがあれば良い。
・ 高齢者は、もっと素直になって欲しい。いつでも声をかけてもらえば、助けたいという気持ちがある。
・ 子どもたちのあいさつをこのまま続けてほしい。
・ 地域の方が困っているとき、市の窓口がしっかりと対応していただきたい。
・ 子どもが一年を通して、安全に遊べる環境があつたら良い。
・ 雪が多くても2m位に収まってほしい。
・ 子どもが少なく、チームで野球ができない。
・ 地域の茶の間について、報告書などの事務をなくしてほしい。
・ 昔は雪が金だった。雪が降ると金が降ってきたようだった。
・ 昔の人は米をたくさん食べた。農業者のために、もっと米を食べてほしい。
・ 子どもが市外に進学しても、将来地元に戻ってこれる仕事があると良い。
・ 子どもや高齢者を地域ぐるみで見守りしていただけたら良い。

【入広瀬地区】

会場 穴沢ふれあい館(7/30)(参加者7名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 優しく声かけしてくれるコミュニティができています。
・ 野菜をくれる方がいる。
・ 地域の茶の間を開催したことで、たくさんの方が出てきてくれ世代間交流もある。
・ 地域の茶の間で皆さんが笑ってしゃべって楽しく交流できてうれしい。
・ 地域の茶の間をきっかけに普段の付き合いも増えた。
・ 高齢化率は高いが、元気な人が多い。
・ 若トシで運動しているからか、検診の結果が良い。
・ 考え方が発展的である。
・ 自然と共存している。
・ 80代~90代の人も、農作業をして元気である。

2 身近な地域でこまっていること

・ 引きこもりの若者がいる。
・ 運転が怖くなってきて、通院に困っている。乗り合いで病院に行かせてもらっている。
・ 交通の便の悪さ。
・ 基幹病院に手術の付き添いに行ったが、院内で宿泊できる場所（控え室等）がない。
・ 高齢者が入広瀬庁舎の窓口に行ったら、「湯之谷庁舎でないと手続きできない。」と断られてた。市の職員が来てくれれば良いのではないか。
・ 高齢者世帯、独居、障害者世帯が増え、地域で支えあうことが難しくなっている。
・ 日中、フラフラ歩いている人がいて心配。
・ サルが農作物を荒らす。
・ 地域には、アルコール依存の方、定職のない方がおり、民生委員の活動では限界がある。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 若い人が移住してくれれば良い。
・ 地元で働く場所が増えて欲しい。活気も出るし、店も増える。
・ 信用できる人に見守ってもらいたい。鍵の場所を教えられるような。
・ 食事やお茶ができる場所がほしい。

会場 穴沢ふれあい館(8/9)(参加者3名)

1 私たちの地域のいいところ

・ 隣近所の方々の様子がわかる。
・ 寿和温泉が地域の交流の場となっている。
・ 地域の人たちの情報がお互いに分かっている。
・ 子どもの数が少ない分、お互いが支えあっている。良い刺激になっている。
・ 地域見守り隊があるため、安心感がある。
・ 子どもたちのつながりがある。
・ 地域や学校行事に住民が協力的である。

2 身近な地域でこまっていること

・ 高校へ進学すると、守られている中から、外部に出るため心配である。
・ 日常生活用品を買いに行くのが大変である。
・ 坂が多くて、出かけることが大変である。電動バイク率が高い。
・ ひとり暮らし世帯が多くなってきている。
・ 地域の担い手がいなくなっている。
・ 独身で生活が厳しい方がいる。若い人を支える仕組みが見えてこない。

3 こんな地域であつたらいいな

・ 自然を活かした行事、イベント等をアピールする。
・ 温泉、プール等を活かしたイベントを行う。
・ 入広瀬の奥の地域にも足を運んでもらいたい。
・ キャンプ場など、アウトドアを楽しめる所があると良い。
・ 移動市役所があつたら良い。